

かわにし

議会だより

第163号

2025

10.15



笑顔でゴール

美郷幼稚園運動会にて P6に関連記事



川西町議会HP
QRコード

令和6年度決算、町債残高増加 … 2

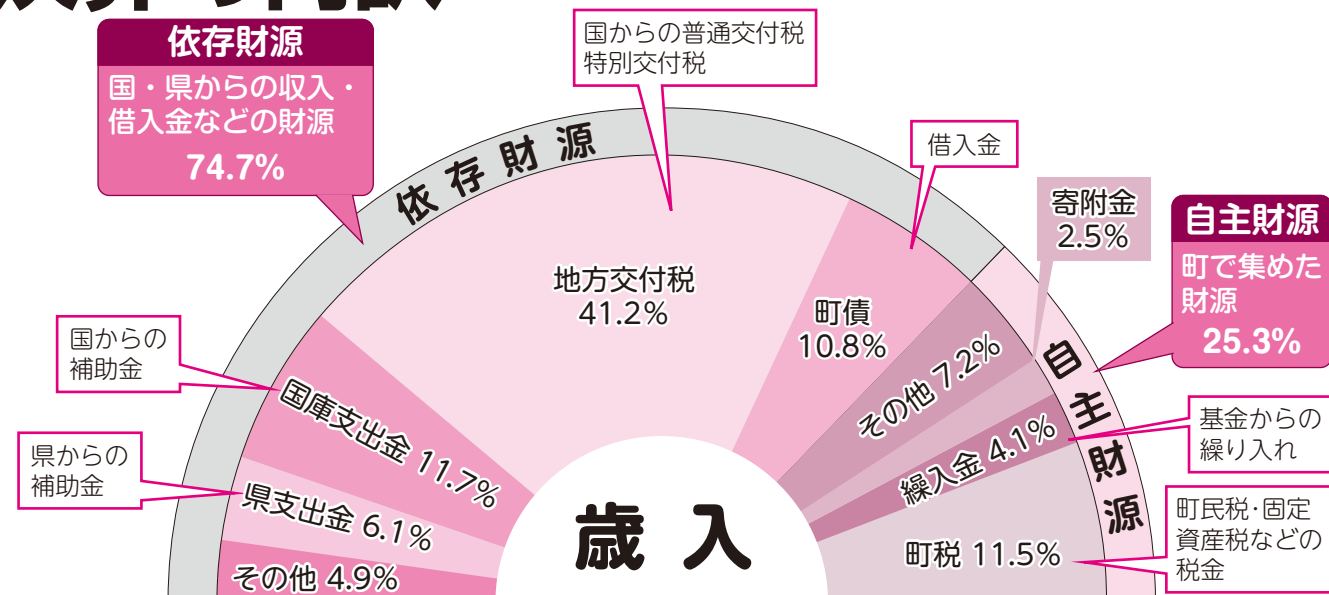
町長に問う 5人が一般質問 … 12

意見交換会 4会場で開催 …… 20

いいね!かわにし 街かどインタビュー … 22

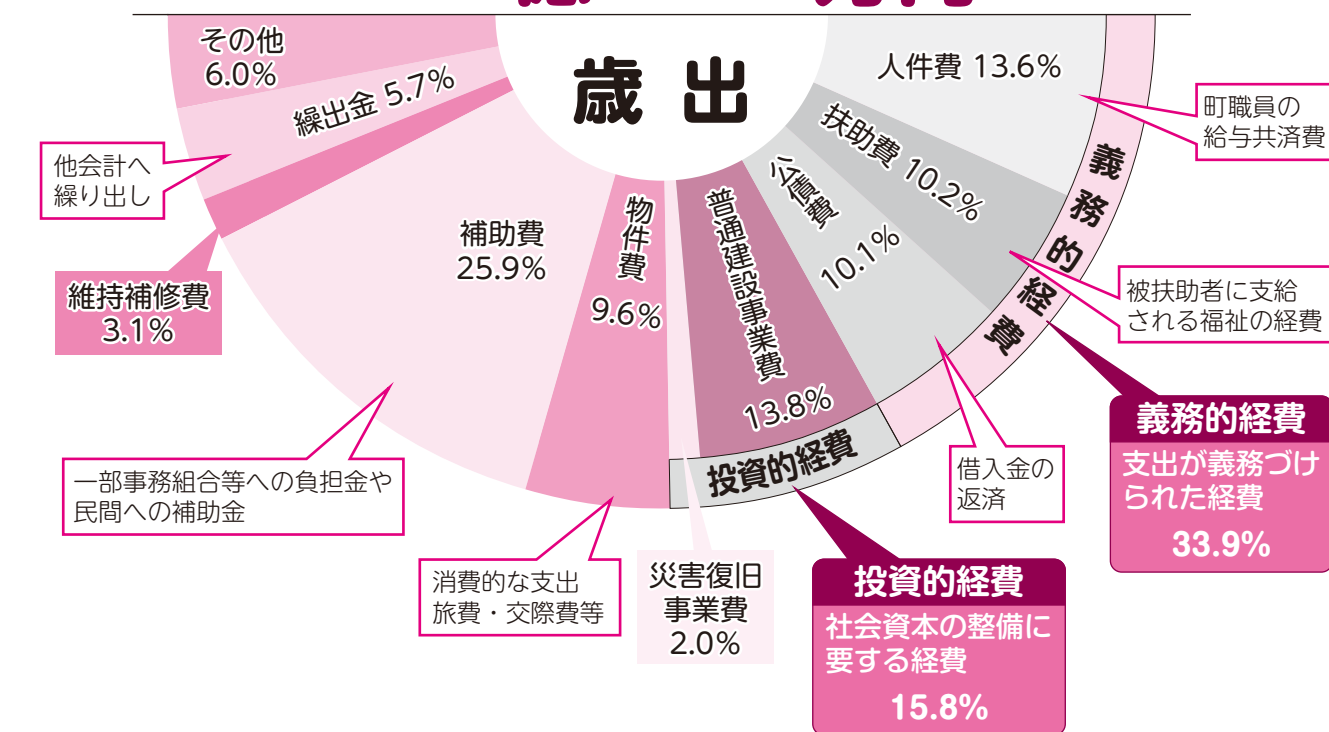
投資的事業が重なり、町債残高増加

決算の内訳



一般会計

133億3223万円
129億4775万円



令和6年度主な事業

- ①「川西まちなかテラス」本体工事
愛称は「まちりあ」に決定
- ②川西中学校長寿命化整備工事
- ③小松・玉庭両小学校が統合
- ④鏡沼・大沢地区災害復旧工事
万福寺川改修に取り組む
- ⑤フレンドリープラザ30周年記念事業
故井上ひさし氏自宅書斎を再現

単年度収支は赤字

一般会計の歳入は133億3223万円、歳出は129億4775万円、歳入歳出差引は3億8448万円となり、翌年に繰り越す財源4544万3千円を差し引いた実質収支は3億3903万7千円となった。令和6年度の実質単年度収支はマイナス

地方交付税は減額

最大の財源である地方交付税は54億9845万8千円で置賜広域病院企業団分を差し引

借入金残高は増加

借入金残高は増加したが、財政健全化法に基づく財政指標は国の財政指標（5ページ参照）をクリアしており健全と判断した。

適正な財政運営を

大型プロジェクトの継続や公共施設の更新改修が相次ぎ、さらに自然災害が多発しており臨時的な財政支出が必要となるため、ある程度余裕を持った財政運営が必要である。一層の行財政改革に努め、適正な財政運営を望む。

将来の財政負担を考慮、財政の健全化をはかる

9月定例会のあらまし

9月定例会が、9月2日から19日までの18日間の会期で開催された。

第1日目に、人事1件に同意、令和6年度一般会計等健全化判断比率等報告4件の後、条例1件、令和7年度各会計補正予算4件を一括上程し、常任委員会、予算特別委員会に付託した。

監査委員による決算審査の結果報告があり、これを受け決算特別委員会を設置した。

また、令和6年度各会計決算認定7件を一括上程し、第3日目に決算特別委員会に付託した。

第2日目に、5人の議員が一般質問を行い、中心市街地活性化、川西診療所機能、鳥獣被害、コロナー希望が丘閉所後の体制、町債残高などについて執行部に質問した。

第1日目を以降、特別委員会、常任委員会、予算・決算特別委員会分科会を開催し、議案を審査した。

最終日に、付託した条例、補正予算、決算認定を原案通り可決、追加提案されたまちなかテラス整備工事の変更契約、備品の購入などを可決し閉会した。

今定例会の傍聴者は2人だった。

一定程度の 基金積み増しが必要

監査
意見

災害復旧はほぼ完了

決算
審議

一般会計

本町財政は、依然として地方交付税への依存度が高く、交付の多少により財政指数が大きく変動する。
人口減少による税収減、公共施設等の老朽化対策、災害、社会保障関係経費の増大といった、将来の歳入歳出増加への備えとして、標準財政規模の一定程度の基金積み立てを指す必要がある。

国保事業会計

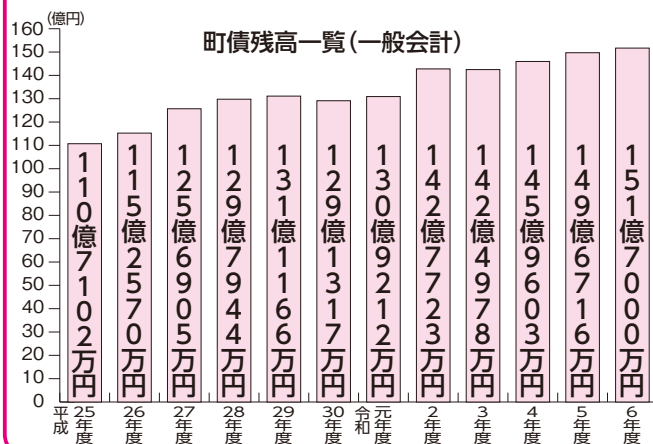
令和6年度の不能欠損額は638万円で前年より846万円の減、収入未済額は4453万円で383万円減つた。年々減少しているものの、依然として滞納繰越が多い。より一層の事務処理の見直しを図るべきである。

水道事業会計

単年度損益が1514万円の赤字となり、経営収支比率100%を下回るなど、財務状況は一段と厳しくなっている。水需要の増加が見込まれない中、類似町と比べると、高い料金水準にあるが、水道事業を安定的に運営していくには有収率の向上、未収金対策を実施するとともに、必要に応じて水道料金の見直しを行うことも止むを得ない状況にある。漏水調査により有収率が向上し、努力が認められるが、引き続き漏水調査や老朽管の付設工事の計画的な実施を期待する。

ここが知りたい

町債（借入金）の推移



基金の残高

	財政調整基金	町債管理基金	標準財政規模に対する財調基金の割合
令和元年度	2億2167万円	1369万円	3.4%
令和2年度	4億524万円	7748万円	6.1%
令和3年度	6億97万円	1億8163万円	8.7%
令和4年度	5億982万円	1億1544万円	7.6%
令和5年度	5億9445万円	1億6742万円	8.9%
令和6年度	7億3597万円	2億5470万円	10.9%

財政指標 令和6年度川西町一般会計等健全化判断比率

	実質赤字比率 一般会計の赤字額が標準財政規模に占める割合	連結実質赤字比率 全会計の実質赤字額が標準財政規模に占める割合	実質公債費比率 全会計の償還額が標準財政規模に占める割合	将来負担比率 将来一般会計から負担されると想定される金額等が標準財政規模に占める割合	公営企業会計に係る資金不足比率 資金不足の額が事業規模に占める割合
川西町	—	—	12.6%	137.5%	—
早期健全の基準	14.10%	19.10%	25.00%	350.00%	20.00%
財政再建の基準	20.00%	30.00%	35.00%	—	—

※標準財政規模 標準的な税収、地方交付税、地方譲与税等自由に使える財源の標準的な規模を表す。令和6年度の本町標準財政規模は68億5464万円。



鏡沼工事は「湛水試験」などを経て完了へ



故井上ひさし氏の書斎再現で見学者も作家気分に

決算特別委員会は常任委員会を単位とする2分科会で構成され、一般会計など7会計を審査した。ここで

は監査意見、総括質疑、討論、町長に対する質疑、各分科会での質疑を要約して報告する。

「小さくても豊かなまちづくりを進めていく

令和6年度各会計決算の認定状況

会計別	歳入	歳出	認定の内容
一般会計	133億3223万円	129億4775万円	全員賛成で認定
国民健康保険事業特別会計	17億863万円	16億8168万円	全員賛成で認定
介護保険事業特別会計	20億4255万円	19億7681万円	全員賛成で認定
後期高齢者医療特別会計	2億1118万円	2億700万円	全員賛成で認定

水道事業会計	収益的※1	4億5123万円	4億5081万円	全員賛成で認定
	資本的※2	1億4506万円	3億1005万円	

※1 収益的収支は水道水の収入と支出、資本的収支は水道施設に係る収入と支出

※2 不足する1億6499万円は消費税調整額、損益勘定留保資金で補填した。

下水道事業会計	4億6755万円	3億4341万円	全員賛成で認定
農業集落排水事業会計	8705万円	6214万円	全員賛成で認定

町長に聞く

決算審議の分科会で、特に政策的な事項を町長に聞いた



学区再編が検討される＝小松小学校

予算執行なしの理由は

橋本 欣一 議員

橋本 6年度の決算では、予算に対して約5億円の執行なしがあるが要因は。

企業財政 予算にのっとり事業展開してきた。それぞれの執行の中で経費節減などに努めてきた結果の積み上げである。

橋本 それぞれの事業での支障はなかったとは思う。今後住民サービスの低下がない範囲で節約に努めてほしい。

企業財政 予算にのっとり事業展開してきた。それぞれの執行の中で経費節減などに努めてきた結果の積み上げである。

橋本 企業財政 予算にのっとり事業展開してきた。それぞれの執行の中で経費節減などに努めてきた結果の積み上げである。

企業財政 予算にのっとり事業展開してきた。それぞれの執行の中で経費節減などに努めてきた結果の積み上げである。

有利な上位事業に期待

高橋 輝行 議員

高橋 監査委員は勧告できる。その意見書は重いものを受け止めている。財政、国保や水道料金アップも示唆された。

企業財政 予算にのっとり事業展開してきた。それぞれの執行の中で経費節減などに努めてきた結果の積み上げである。

町長 意見書は重いものを受け止めている。財政、国保や水道料金アップも示唆された。

企業財政 予算にのっとり事業展開してきた。それぞれの執行の中で経費節減などに努めてきた結果の積み上げである。

高橋 137億円の借金を引き継いでいる。財政、国保や水道料金アップも示唆された。

町長 意見書は重いものを受け止めている。財政、国保や水道料金アップも示唆された。

企業財政 予算にのっとり事業展開してきた。それぞれの執行の中で経費節減などに努めてきた結果の積み上げである。

小学校統合の方針は

第一分科会

問 小学校施設の再編に向けた取り組み状況および今後の対応は。

企業財政 予算にのっとり事業展開してきた。それぞれの執行の中で経費節減などに努めてきた結果の積み上げである。

町長 人口減少、施設老朽化、財政状況など、学校運営に関わる課題は多様化してきている。地域の宝である子どもたちのために、学校が学校として最大限の機能を発揮できる新たな教育環境の整備の実現を目指して、小学校の適正配置について検討する必要がある。

企業財政 予算にのっとり事業展開してきた。それぞれの執行の中で経費節減などに努めてきた結果の積み上げである。

企業財政 予算にのっとり事業展開してきた。それぞれの執行の中で経費節減などに努めてきた結果の積み上げである。

企業財政 予算にのっとり事業展開してきた。それぞれの執行の中で経費節減などに努めてきた結果の積み上げである。

財産取得

川西町まちなかテラス整備備品の取得

《契約金額》
1045万円

《契約の相手方》
株式会社 平山家具

《契約の内容》
1、机

・調理室用机

・多目的室用机

・事務室用机

2、椅子

・調理用椅子

・多目的室、

ホール兼用椅子

3、椅子台車

・多目的室、

ホール兼用椅子台車

4、棚

・備蓄倉庫用棚

・付属棟災害用備品倉庫用棚

9月定例会・臨時会の議決状況

議会基本条例の規定により賛否の分かれたもののみ、各議員の議案に対する賛否状況を報告する。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
議員名	船山 千鶴	鈴木 孝之	寒河江 秀一	渡部 秀一	寒河江 司	吉村 徹	伊藤 進	神村 建二	橋本 欣一	高橋 輝行	欠員	遠藤 明子	鈴木 幸廣
9月定例会 議第55号 川西まちなかテラス整備建設工事変更請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○	△

他の議案はすべて全員賛成でした。 ○は賛成、×は反対、－は欠席。議長は賛否に加わらない。上記以外は出席者全員賛成。

表紙の写真



笑顔でゴール

10月4日、久々の晴天に恵まれ中郡地区美郷幼稚園「なかよし運動会」が開催された。美郷幼稚園は、中郡地区、吉島地区の園児が通っており、全園児28人である。

写真はかけっこのゴールの1枚である。先頭の女の子の笑顔から、喜びの様子が伝わってくる。見ているこちらもつい笑顔になり子どもたちの健やかな成長を願うとともに、これからの益々の活躍を願うばかりである。たくましく育て川西っ子！

川西ブランド農産物は

第二分科会

問 農産物における川西ブランドの確立状況は。

町長 紅大豆は平成29年に町が商標登録を取得しながら、認知度およびブランドイメージの向上に取り組んできた。「紅大豆といえは川西町」とのイメージは幅広く浸透しているものと捉えており、現在も川西ブランドの確立に向けた取り組み

ドの農産物としてさまざまな加工品等に活用されている。

町長 紅大豆は平成29年に町が商標登録を取得しながら、認知度およびブランドイメージの向上に取り組んできた。「紅大豆といえは川西町」とのイメージは幅広く浸透しているものと捉えており、現在も川西ブランドの確立に向けた取り組み

ドの農産物としてさまざまな加工品等に活用されている。

企業財政 予算にのっとり事業展開してきた。それぞれの執行の中で経費節減などに努めてきた結果の積み上げである。

企業財政 予算にのっとり事業展開してきた。それぞれの執行の中で経費節減などに努めてきた結果の積み上げである。



本格的にダリアのブランド化を

6次産業化拠点施設であるかわにし森のマルシェと連携を図りながら、ブランド化が有望な農産物の掘り起こしや新たな加工品等の開発に向けた支援に取り組む。一定の認定基準を設けることにより、認定品の信頼性およびブランド力の向上が期待できる「ブランド認定制度」についても他市町村の取り組みも参考にしながら研究していく。

かわにし 議会だより 第163号 (8)
令和7年10月15日発行

補正予算

令和7年度一般会計補正予算(第2号)は、昨年度の定額減税の給付金の不足金、物価高騰対応給付金、ため池総合整備(鏡沼・大沢)事業、川西診療所施設整備推進事業、決算で生じた剰余金を財政調整基金に積み立てるなどの補正予算である。

診療所予定地測量で実質建設スタート



新診療所の整備に向け、在宅医療多職種勉強会を開催

川西診療所施設整備推進事業

羽前小松駅前西口町有地(現在駐車場)に整備予定の川西診療所の用地測量業務の委託金である。

定額減税補足給付金事業

昨年実施された定額減税のうち、所得の確定に伴い不足分を給付するもので、約2100人が対象となる。

公共交通対策事業

物価高騰に伴い、町内タクシ業者(福祉タクシー含む)などに、燃料代、タイヤ購入補助

助として1台5万円の補助を行うもの。対象は町内27台である。

ため池総合整備(鏡沼・大沢)事業

令和4年の大雨洪水で決壊したダリヤ園鏡沼の下流洪水吐安全対策工事である。

町内企業支援事業

物価高対策として、町内企業に対して、国の交付金を利用した支援で従業員数に応じて3万円から5万円の支援をするもの。

主な質疑

問 剰余金を財政調整基金に積み立てるが目標額は設定しているのか。

企調長 現在は、具体的な数値目標を設定していない。

意見 一定の数値目標を設定して健全財政を図るべきである。

問 消防団員に貸与される耐切創手袋はどのようなものか。

総務課長 特殊繊維(ケブラー繊維)製で出来ており、消火の際にトタン、金属などで手を切らないための手袋である。主に筒先員などに貸与する。

総括質疑

剰余金は債務返済に充てるべき

橋本 欣一 議員

橋本 令和6年度の繰越から財政調整基金(貯金)に1億800万円を積み立てるが、債務(借金)返済に充てて債務残高の圧縮に努めるべきでは。

橋本 債務返済可能なもの、余剰があれば返済し、債務残高の圧縮を図るべき。

財政調整基金の考え方は

高橋 輝行 議員

高橋 財政調整基金は、平成27年度の12・4%を上回る13%は評価する。増加の要因は。

企調長 地方交付税の増額と歳出の削減、節減による繰越金の増額である。

次は一般質問

令和7年度各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計(第2号)	146億2208万円 (7億6804万円を追加補正)	全員賛成により可決
国民健康保険事業特別会計(第1号)	17億8660万円 (3215万円を追加補正)	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計(第2号)	21億3747万円 (6574万円を追加補正)	全員賛成により可決
後期高齢者医療特別会計(第1号)	2億2058万円 (428万円を追加補正)	全員賛成により可決

一般会計補正予算(第2号)の主な内容

(歳出)	
定額減税補足給付金給付事業 不足額給付金	3900万円
町内企業支援事業 物価高騰対応応援給付金	1358万円
川西診療所施設整備推進事業 整備用地測量業務委託料	750万円
ため池総合整備(鏡沼・大沢)事業 鏡沼下流洪水吐安全対策等工事請負	4000万円
(歳入)	
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	4966万円
医療給付事業費県補助金	759万円

意見 消防団員全員に貸与できるように、有利な財源を探ること。

問 学区再編事業が計上されたが、具体的には何をするのか。

教調長 小学校統合に向けた学区再編のための組織を編成し検討していく。予定では16人の委員を委嘱した会議を中心に、地区懇談会、保護者説明会などを開催していく。

問 仕事づくり推進事業でアドバイザーを導入するが目的は。

商工長 町内産品の販売促進に向けた専門的な知見を得るため、マーケティングアドバイザーを導入する。

意見 本町の魅力を引き出し、新たな価値を生み出す取り組みとなるよう推進すべき。

財政

公債費のピークは

町長 — 令和15年度に迎える

渡部 近年、町有施設の多く行っている。さらに診療所の整備が控えている。財政の現況と公債費のピークは何年度か。

町長 役場新庁舎の整備や旧庁舎の解体および跡地への「まちなかテラス」建設、道路インフラ整備等の大型の投資的事業を継続的に行った。事業は一部、国の補助金等を活用しているが財源の大部分は地方債である。令和6年度末の地方債残高は約151億円である。川西診療所整備にも地方債の活用を予定しているので、地方

債の償還に係る公債費負担は今後増加するため、非常に厳しい財政運営となる。公債費は、令和15年度にピークを迎え約17億円となる見込みである。

渡部 空き店舗や空き家が増えている。それだけでなく、空き家等の近辺は草が伸び放題で、中心市街地活性化に取り組んでいるようには見えない。自分の家の前は住民にお願いして除草できないか。また道路付近は町で除草すべきではないか。古い街並みでも整然としていれば、訪問

者に好印象を与えるのではないか。

町長 交流センターと協議検討する。道路部分は道路パトロールに要請する。

渡部 小学校の統合に見交換会の資料の中で1校ないし2校の配置となっている。また児童数が令和7年度は526人、令和13年度は368人と書かれている。少子化問題は幼児施設も同じであるが、現在町立の施設は3カ所。幼児施設を民間にまかせる自治体も多くなっていると聞か

渡部秀一 議員



完成間近のまちなかテラス

町政を問う



(川西町誕生70周年記念ポロシャツを本会議で着用)

5人の議員がするどく一般質問

定例会第2日目に一般質問が行われ、5人の議員が町政について質問しました。発言順に掲載します。

P13	渡部 秀一 議員	① まちづくりと財政
P14	橋本 欣一 議員	① 猛暑対策 ② 公立置賜川西診療所整備と地域医療連携の推進
P15	吉村 徹 議員	① 鳥獣被害対策 ② 行政機構改正 ③ 深刻な物価高騰対策
P16	鈴木 孝之 議員	① 川西町への放課後デイサービス事業所設置要望 ② 農業振興政策
P17	高橋 輝行 議員	① 財政規律 ② 町づくり

一般質問は、議会ホームページの録画中継によって見るができます。(https://www.town.kawanishi.yamagata.jp)

①抜きの数字は掲載された質問。それ以外は誌面の都合により掲載できなかったもの。

まちの未来が見える(9月定例会の傍聴者は2人)

議会傍聴においでください

どなたでも傍聴できます
(事前連絡は不要です
役場3階においでください)

次回定例会は12月です

定例会本会議、予算特別委員会はNCV、インターネットで生中継。議会フェイスブックもご覧ください。



川西町議会FB QRコード



川西町議会HP QRコード

一般質問

まちづくり

診療所の機能内容は

町長―地域在宅医療連携拠点と位置付ける



橋本欣一 議員

橋本 診療所の建設地に羽前小松駅前に変更になった。診療のみの施設と受け取ったが、計画書では在宅医療の拠点機能としての位置づけとなっている。機能的な裏付けがまだ見えてこないがどうか。

アシシステムの深化、推進を図る必要がある。現在川西診療所では訪問診療を継続して行っており、「在宅療養支援診療所」の認可を受け、他機関と連携して24時間体制を整えている。

は どうか。

町長 在宅医療を推進するには地域包括支援センターや福祉部門との情報共有・連携は重要と認識している。

住み慣れた地域で安心して暮らせる在宅医療、介護体制を整えていく。

橋本 地域包括支援センターや福祉部門との情報共有・連携の体制を整えていく。

橋本 これらを機能させる体制など具体的に早く示すべきである。

酷暑対策は

橋本 酷暑対策に「涼み所」(クーリングシェルター)を設けているが利用状況は。

町長 庁舎、フレンドリープラザ、各地区交流センターの9カ所を開放している。また、暑さ指数が危険レベル時は防災無線で呼びかけている。

橋本 エアコンの使用が強く進められている。まだ設置のない高齢者世帯には購入の支援や、電気代の補助も考えてはどうか。

町長 県のエアコン普及率は84%(平成26年)で現在はこれを超えているものと思う。省エネ事業として補助を行っている自治体が2つある。電気代の補助は確認できない。全国、近隣の動向を踏まえ検討する。

その他 猛暑による農業被害や品種変更等を質問した。

吉村 本町における鳥獣被害や目撃情報はどうなっているか。

町長 被害件数、目撃件数ともに昨年度と比較し増加している。特にツキノワグマについては、今年8月現在町内五地区で21件の目撃となっている。

吉村 猟友会米沢支部川西ブロックに対する支援はどのようなになっているか。

町長 本町からの運営支援補助金は、年額で15万円となっている。

吉村 鳥獣駆除の際に支払われる捕獲補助金については。

町長 駆除出動のほか見守り出動に対する日当報酬と駆除した際の個体個数に対する報奨金額の2種類となっている。

吉村 9月1日から施行される、改正鳥獣保護管理法により「緊急銃猟」が可能となるがどのような取り組みとなるか。

町長 市町村の判断で「緊急銃猟」が可能となったものの、自治体には非常に大きな責任と慎重な判断が求められる、運用について慎重に検討を進めていく。

吉村 鳥獣被害の増加が懸念される中、

対策はどのように。

町長 有害鳥獣の目撃情報などがあつた場合、町内防災無線、町公式LINEを利用しながら情報提供するとともに、地元猟友会の協力を頂きながら、鳥獣被害に対する迅速な確認、駆除の体制を図っていく。

吉村 今年度、4月1日からの機構改革について、地区交流センターへの連携、調整にあたる地域担当制などの支援体制についてはどのようなになっているか。

町長 係制を導入し、地域づくり推進全般については、政策

推進課へ移行し新たな体制とした。担当課においては職員2人を配置しながら、「地域自立推進制度」の一層の推進を図るなど、時間や場所にとられない柔軟な連携体制を構築し、各地区の課題把握に努めている。

吉村 物価高騰下における町民の暮らしを守っていく対策についてはどのように。

町長 国に対して物価高騰に対する支援を求めているとともに、実効性の高い事業を実施しながら、町民の暮らしを守るように努める。

鳥獣被害

鳥獣被害の状況は

町長―被害・目撃とも増加している



吉村 徹 議員



クマ被害、箱わなで対策



エアコン設置に購入補助を

一般質問

福祉

障がい児の放課後等デイサービスの充実を 町長―情報収集に努める



鈴木孝之 議員

鈴木 障がい児の放課後等デイサービス事業所設置は。

町長 町内への事業所の設置は、町直営は難しく、民間事業者の事業展開が望ましいと考えている。本町への事業所設置希望の事業者があつたら、町としても町有施設の活用等、協力していきたいと考えている。放課後等デイサービスが、障がいのある児童、生徒の療育の場であることや、さらにはサービスの利用が結果的に保護者の就労の一助になることに注視し、今後地域とのニーズの把握に努め、関係機関と連携しながら、町内でのサービス拠点の設置を視野に、情報収集と環境整備に努めていく。

鈴木 コロナー希望が丘の開所後の管理体制はどうなる。

町長 移転後の現在地の管理は、県が方向性を示すべきと考えている。町では、県に対して、移転候補地の協議とともに、移転後の現在地の管理と利活用について、検討するよう強く要請してきた。地域の方々が危惧するとおり、最近のクマの出没等有害鳥獣の被害や施設の老朽化は、町としても懸念している。現在、県から移転後の利活用策の提示はないが、移転前の説明会の開催等については、県とも調整を図っている。

新たな堆肥センター設置は

鈴木 新たな堆肥センター整備計画は、堆肥の在庫が過多とならないよう、定期的な堆肥の処理が求められることから、その管理は、畜産農家にとって大きな負担となっているものと捉えている。そのような現状において、新たな堆肥センターの設置の要望については、現在のところ町では受け



コロニーの施設、閉所後の管理が心配

ていないが、より多くの堆肥の処理、保管が可能となる堆肥センターの整備について検討していく。

その他 児童精神科誘致の要望、令和8年産米の生産について質問した。

高橋 町債残高はいくらになるのか。

町長 前任者の町債残高は137億3600万円である。

高橋 監査委員の決算意見書を読むと令和5年度の実質公債費率は35市町村中ワースト4位、将来負担比率はワースト2位とある。この指摘についての考えは。

町長 しっかり受け止めて、今後の町政運営に生かしていきたい。

高橋 財政調整基金は、5%にすべきとのことだが、私は15%にすべきとの持論だがどうか。

町長 財政健全化判断比率のイエローは25%であるが本町は12・6%。将来負担比率イエローは350%であるが本町は137・5%で、数字だけみればまだ余裕があるようだが、事業を行うには借り入れが必要になるため抑制が必要である。

町長 変動はあるが議員指摘のとおり15%を目標にしていきたい。

高橋 岡山県の八掛町は64・7%の例もある。

高橋 イエロー、レッドはまだのようだが。

町長 財政健全化判断比率を議会に報告した。実質公債比率のイエローは25%であるが本町は12・6%。将来負担比率イエローは350%であるが本町は137・5%で、数字だけみればまだ余裕があるようだが、事業を行うには借り入れが必要になるため抑制が必要である。

町長 有利な財源を確保し町を発展させていきたい。そのた

高橋 政治力、創意工夫により、有利な制度を活用する、これこそ町長の仕事。上位事業第2世代交付金事業（国）というありがたい制度を見つけた。この事業は、国補助が50%であるが残りを過疎債を使うと町負担は15%となり、大変有利な補助事業である。私の試算では茂木町長は1年間で8億5千万円稼いだことになる。今までのような過疎債だけ使うやりかたとは違う。

町長 有利な財源を確保し町を発展させていきたい。そのた

高橋 一期4年間で一番取り組みたいことは何か。

町長 町民一人ひとりが主体的に行動

め代議士と協力し財源を確保していきたい。し、地域全体が活力を持つ仕組みづくりである。町民との対話を通じて具体化していきたい。



公共施設の維持管理には多大な経費 = 町民総合体育館

財政

町債残高は

町長 — 137億3600万円である



高橋輝行 議員

次は人事・条例・全員協議会

人事

教育委員会委員の 任命に同意

金子正美氏が9月30
日で任期満了のため提
案され、同意した。

●佐藤 英樹氏
ひでき
(新任) (中郡)

(略歴)

高畠町立糠野目小学校
長
川西町立犬川小学校長
川西町教育相談員

全員賛成により同意



条例

職員の育児休業に関 する条例の一部改正

1 改正の趣旨 地方

公務員の育児休業に関
する法律の改正により、
職員の部分休業制度に
ついて改正するもの。

2 改正の内容

部分休業制度の拡充
(1)職員の部分休業制度
において、1日の勤務
時間の全部または一部
について勤務しないこ
とを選択できるように
する。

(2)非常勤職員に係る部
分休業の対象となる子
の年齢を「3歳に達す
るまで」から「小学校
就学の始期に達するま
で」に引き上げる。

全員賛成により可決

全員 協議会

公募によらず指定 管理者の候補者を 選定する理由

地区交流センターは、
7地区とも良好な運営
実績があり、住民参加
による多様な取り組み
も評価され、町や外郭
団体との連携について
も良好であった。

今後地域住民の主
体的な町づくりへの参
画と実践を促進する必
要がある。

これまでの実績運営
を評価し、地区交流セ
ンター管理者は公募に
よらないで、振興協議
会やNPO法人等の各
地区の経営母体を指定
することが妥当と判断
する。

指定管理 選定を説明

第6次川西町総合計画

第6次総合計画は、

町がこれから策定する
各種計画の基本であり、
「基本構想」、「基本計
画」、「実施計画」で構
成される。

1 基本構想 (計画期

間…令和8年度(20
26年度) から令和17
年度(2035年度)
までの10カ年計画)

2 基本計画 (計画期

間…令和8年度(20
26年度) から令和12
年度(2030年度)
までの5カ年) 前期基
本計画

3 実施計画 (計画期

間…3カ年) その時々
の行政需要を勘案し、
別途計画策定。

広報モニターから

ひとこと②

中郡 斎藤 美穂 さん



地元に戻りなくなる
町づくりを

20年後に川西町の高
齢者が50%を超える
という推計があります。
新米高齢者の私は、介
護施設に入ればラッ
キー。移動手段もなく、
ひたすら命ながらえて
いる可能性は大いにあ
り、健康寿命を心がけ
るのみです。自助努力

せねばならない時代の
巡り合わせですし、ど
うせなら楽しく向き合
いたいものです。
元氣な先輩高齢者の
方々を拝見しています
と、皆さん活動的で、
お忙しい。シニア層各
世代、さまざまな場を
お持ちで、情報交換、
誘い合い、ちょっとした
相談など賑やかで
す。
長いトンネルを抜け
るまで、福祉介護問題
は大変な状況だと思い
ます。地域が元氣なら
高齢者も元氣。地域づ
くり・町づくりに、「目
律する高齢者」の視点
を加えていただきた
い。地域の要、地区セ
ンターと議員さん
は、高齢者のニーズを
探り、行政に反映して
いただきたいと思いま
す。
働き盛りに負担をか
けない、進学や就職で
外に出た若者が地元
に戻りたくなる町に、高
齢者の健康パワーが貢
献できればと思います。

委員会 レポート

令和7年8月1日、
町内3カ所の現地調査
を行った。

公立置賜川西診療所
は、昭和42年建設から
58年が経過、施設設備
が老朽化し、敷地は山
形県から公表された
「新たな土砂災害が発
生する恐れがある箇
所」となったことから、
移転先である羽前小松
駅前西側の整備予定地
を現地調査した。



新診療所予定地を確認

新診療所

予定地を

調査他

産業厚生常任委員会

その他に、令和4年
8月に発生した豪雨災
害の復旧状況の現況調
査を、鏡沼(大光院堤
1号)と正安寺配水池
で実施した。鏡沼につ
いては、堤体洪水吐・
放流行・下流水路の工
事が完了していた。今
後は、湛水実験を実施
予定となっている。

地滑りの正安寺配水
池では、工事中の現況
調査を行った。

広報全国研修会に参加

高根沢町議会とも研修・交流

広聴広報常任委員会

令和7年8月28、29
日、東京都での町村議
会広報研修会と栃木県
高根沢町議会の広聴広
報に関する先進地調査
を行った。

広報全国研修会

3人の講師により、

「インタビュー記事を
足して読ませる広報誌
にしよう」「スマート
ホンを活用した撮影技
術・動画作成の基本」
「議会活動化と連動し
た広報誌づくり・町民
の政治参加をうながす
ツールに」それぞれ

久しぶりの全国研修会参加し、情報収集



久しぶりの全国研修会参加し、情報収集



高根沢町議場にて

こんな質問・要望がありました(主なものを抜粋)

地区名	月 日	会 場	参加者	議 員 (先頭が班長)
犬川	8月19日	地区交流センター	5人	遠藤明子、高橋輝行、伊藤進、吉村徹、寒河江司、鈴木孝之
吉島	8月19日	地区交流センター	9人	鈴木幸廣、橋本欣一、神村建二、渡部秀一、寒河江寿樹、舩山千鶴
玉庭	8月20日	地区交流センター	8人	遠藤明子、伊藤進、吉村徹、寒河江司、鈴木孝之
東沢	8月20日	地区交流センター	13人	鈴木幸廣、橋本欣一、神村建二、渡部秀一、寒河江寿樹、舩山千鶴

質疑・要望・意見など	質疑への回答・今後の対応など所管課
(1)教育施設の在り方について ○統合によりどの程度の負担軽減になるのか。統廃合の跡地利用・維持管理経費についても検討が必要と思う。 ○現在、議会内では、廃校後の施設利活用の案はあるか。廃校後は高畠町の屋内遊戯場「もっくる」のような形で、子供たちの遊ぶところになったらいいと思う。 ○町より旧玉庭小学校へ交流センター移転の話を受けている。運営委員会でも決定頂いている。 ○人口減少、少子化により統合は理解するが、そもそも人口が増加する対策に行政が取り組むべきではないかと思う。 ○統合には賛成だが、人口減少対策、特に若い人への支援、企業誘致等を希望する。 ○除雪・ガソリン代、子育て経費が掛かる。川西町に残った若い人に手厚い支援をお願いできないか。若い人達が残りたい町にしたい。 ○少子高齢化、人口減少が進み、過疎化が進んでいる。企業誘致を行う等議会としての考えはないのか。旧態依然の発想では何も変わらず、ますます人口が減り、過疎化が進む。極論だが原発の廃棄物処理施設を玉庭に誘致し、国からの補助金を貰うなどの斬新な発想が必要ではないか。	●東沢小は企業で活用。玉庭小は普通財産施設として町管理。高山小は社会福祉団体で活用。今後の利活用については未定だが、ご指摘のとおり有効活用の検討をしていく。 ●意見を踏まえ、町に要望していく。 ●地域の皆さんの意向を尊重しながら前向きに支援していく。町としては、交流センター機能を旧小学校へ移転して、その後にイベント活用やふるさとセンターも活用できる。 ●若い人に住んでもらうような支援体制が必要との意見として承った。 ●玉庭小学校で複式学級3クラスが出る時期に、統合に向けた検討の話が出された。10人位になり、更に1桁になることから父兄から統合の話が出された。人口減少対策については、企業誘致を含め移住・定住拡大に取り組む必要がある。 移住・定住促進について、地域おこし協力隊の定住率が低い。川西町のPRに色々な取り組みを行っているが効果が低い。企業誘致も人口少なく雇用者の確保ができない。 ●意見として承った。諸問題、除雪対策を含め町政に反映していく。 ●町長の判断に沿って議会は議論をする立場である。例えば、国関係の仕事を誘致することで最大の効果が期待できると思う。企業誘致を進める。地域おこし協力隊を活用して移住定住を進める。犬川でも同じ意見が出されたが、人口減少対策が必要であると考えている。
(2)公立置賜川西診療所の整備について ○線路を越えていくのは苦痛、駅西の通りが狭い、道路拡張なども考えてほしい。 ○長井病院・南陽病院は新しくなっているが、川西診療所が、これだけ遅れた理由は何故か。公立置賜病院が川西町にあるから遅れたのでは。 ○川西町に皮膚科の設置計画はないのか。置賜管内少ない事から町民にも喜ばれるのでは。 ○社協、保育所などと一緒に考えてはどうか。	●意見を踏まえ、町に要望していく。 ●町立病院から診療所としてのサテライト対応経過、駐車場台数、除雪体制等について回答。 ●意見として承った。 ●町の考えでは診療所のみである。
(3)その他 ○初めて参加したが、大変有意義な会であった。もっと多くの方に参加してもらえるようにセンター職員は大変だと思うが、自治会長を中心に声掛けをした方が良かったと思う。 ○中郡の方の話。10mでスクールバスに乗れない人がいる。熱中症による死亡事案あった。全員スクールバス利用させたい。夏の暑さ、冬の降雪時等利用させたい。 ○交流センター支援担当者について、これまでのまちづくり課4人体制から政策推進課2人体制となった。月1回のミーティングを行っているが、他の業務も担当しており大変だと思う。どのような考えで人員配置がなされたのか。 ○学校によって給食費が違うので、全校同額にしてほしい。 ○学区統合すると子供の顔が見えなくなり寂しくなる。子供たちとの関りは継続していきたい。 ○若い人が働く場所があるように企業誘致をしてほしい。	●意見として承った。 ●意見として承った。 ●意見として承った。 ●意見として承った。 ●意見を踏まえ、町に要望していく。 ●意見を踏まえ、町に要望していく。

意見交換会

4会場で開催

教育施設の在り方。川西診療所で意見

〔各地区交流センターを会場に〕



活発な意見が交わされた＝犬川地区



学区再編が議論された＝吉島地区



前向きな意見が提案された＝玉庭地区



町づくりに多くの意見＝東沢地区

8月19日、20日の両日、少子化による教育施設・川西診療所の整備をテーマに10回目となる町民との意見交換会が開催された。

今回は犬川、玉庭、東沢、吉島の4地区で行われた。

意見交換会は、議会基本条例で定めている最重要項目の一つである。

議員各自は議員活動の中で、地域の課題や個人の相談などの解決に向け努力をしている。しかし、大きな地域課題や政策的な事項に関しては議会として取り組むことで解決できる場合が往々にしてある。本町議会では、意見交換会の成果をまとめ、

町に対し政策提言をしている。

提言を一方通行としない点は、知る限り全国でも数少ない。

直近の課題で意見交換

教育施設に関わる課題は、人口の減少、施設の老朽化、経済規模の縮小が想定される一方で、教育的ニーズの

多様化・拡大化等に対応しながら、学校として最大限の機能を発揮できる教育環境の整備が求められた。

川西診療所については、誰もが安心して利用できる診療所「町民の家庭医」在宅医療の連携拠点となる「地域医療連携」とし、将来にわたり持続可能で町

民が安心して医療が受けられる新診療所を目指すとしている。

ご協力いただいた地区交流センターと参加者の皆さん、関係者に感謝いたします。

『政策提言』手交へのご案内

第12回目の政策提言書の提出・手交式に町民の皆さんの傍聴をお願いします。

と き 10月下旬～11月上旬(予定)
ところ 川西町議会議場

あれから…… どうなった！



令和6年度 川西町交流館利用状況

区分	件数	人数
校舎（3教室・調理室・集会室・多目的ホール・和会議室・スタジオ等）	326	6,175
運動施設（体育館・グラウンド・ピロティ）	304	4,513
宿泊（ミーティングR・日帰り等）	21	324
アルカディア人物館	32	166
埋蔵文化財資料展示館	52	170
遅筆堂文庫分室	11	91

運動施設では体育館の利用が多く、年間245件、3432人が利用している。グラウンドは4月から11月

地域サークル活動やスポーツ合宿、文化講座等町外からも利用者が受け入れられている

問題や課題

今後とも地域コミュニティの強化、地域住民の交流促進の一環として活用が図られるよう取り組んでほしい。

「川西町交流館あいぱる」は、旧川西町立第二中学校の空き校舎を有効活用し、地域の交流拠点として再生した。（平成29年6月）開館

令和2年、井上ひさし氏の蔵書（遅筆堂文庫分室）を収蔵した。現在、川西町教育委員会が管理・運営を行っている。

令和6年度の川西町交流館利用状況（上記表）では、交流施設は9教室利用できる。利用件数の多い順では、スタジオ118件、第1教室52件、和会議室51件の順である。

までの利用だが、屋根のあるピロティは12月まで利用されている。文化施設では、アルカディア人物館、埋蔵文化財資料展示館、遅筆堂文庫分室の利用状況は上記表の通りである。

が、まだまだ利用件数が少ない状況である。また、井上ひさし氏の蔵書（約10万冊）が遅筆堂文庫分室に置かれたままである。フレンドリープラザ内に保管できるよう整理すべきであると議会から意見が出されている。

はじめは

「川西町交流館あいぱる」（旧川西町立第二中学校）は地域住民の交流と学習の場として改修・リノベーション

今回は、施設の利用状況について焦点を当ててみる。

川西町交流館「あいぱる」

地域交流拠点施設

利用状況は



町出身で活躍された人を紹介している = アルカディア人物館

いいね！かわにし 街かどインタビュー

9月21日(日)と23日(火)川西ダリヤ園にて観光客のみなさんにインタビューしました。



矢竹 うたさん
小学4年(宮城県)

家族3人で遊びに来ました。山形県にはさくらんぼ狩りで来たことはありますが、ダリヤ園は初めてです。ダリアの花がとてもきれいで写真を撮るたくさん撮り、リラックスできました。



山口 弘枝さん(山形市)

3年前の水害が起きる前に来たことがあります。心配していましたが、被害を感じません。すばらしく整備されていて、ダリアの花もとてもきれいです。明日への活力になりました。



那須 健汰さん
小学4年(南陽市)

久しぶりにダリヤ園に家族で来ました。今日は天気も良く、気持ちがいいです。町に対して思うことは、子どもが小さいので屋内の遊び場があると助かると思います。



齋藤 稜太くん
中学1年(川西町)

ダリアの花がきれいで、観光客がもっと来てくれればいいなと思います。（稜太くん）花の種類が多く、面白いネーミングの花があるので見ていて楽しいです。町への要望はストリートバスがでるようにしてほしい。（空くん）



大島 亮幸さん
小学4年(新潟県)

私たちはダリアの花が一番好きで、今回来て大満足しています。品種が多いのに驚いています。公園内も広く、きれいに整備されていて気持ちいいです。ユニークな花の名前を見つけてニコリしています。



羽根田浩子さん
小学4年(川西町)

今年は猛暑でダリヤ園の管理作業も大変だったと思います。きれいなダリアの花を見て癒されます。孫といっしょに楽しく観賞させてもらいました。スタッフのみなさん、本当にお疲れ様でした。



小野貴美子さん
小学4年(舟形町)

花が一つ一つ違って見応えがあります。舟形町からは離れていますが来て良かったです。公園内に案内人がいればもっと知ることができると感じました。川西町は活気がありますね。



米野 愛美さん
小学4年(川西町)

公園が整備されていて、娘も安心して遊ぶことができます。天気もいいので気持ちよく見て回ることができました。従業員のみなさんのお陰だと感じています。

みなさんから頂いた要望については、今後の議会活動に生かします。

旧玉庭小学校を
みんなが集まる施設に

玉庭地区にお住いの

小口美咲さんとご主人
の雄平さんに川西町に
ついてお話を聞きまし
ました。

◇ プロフィール ◇

こぐち みさき
小口 美咲さん川西町大字玉庭
家族は、夫と子ども3人
の5人家族 他に犬、兎
にわとり、ひよこと同居
高畠町出身
趣味 スキューバダイビ
ング

一人の出会い

出身は高畠町ですが、
小さい頃に家族で米沢
市に引っ越しました。
主人とは同じ高校で
学年2つ違い。部活動
の先輩後輩です。高校卒業後、宮城県
の同じ専門学校に進み、
私は医療系、主人は建
設系で学び、その後
結婚しました。

趣味のスキューバダイビングについては

仕事をやめ、憧れて
いた沖縄で観光案内の
ボランティアをして、
その時にスキューバダ
イビング資格を取得し
ました。主人は自転車
で2カ月かけて青森か
ら本州・沖縄まで縦断
した体験の持ち主です。
長女が生まれ、コロナ禍を機に主人の実家
の米沢に帰って来まし
た。現在の住まいについ
ては山里で猟の仕事をし
たいと思い、空き家バ
ンク情報で現在の家に
出会い、玉庭に移住し
て5年目になります。子どもたちは、大自
然の中で姉弟仲良く元
気いっぱいです。長女
が小学校1年生、下の
子2人は幼稚園児で遊
びたい盛りなので、今
はこの環境に満足して
います。町に対し要望があれば
お聞かせください猟友会会員で鳥獣駆
除作業に参加した時、

いつも賑やか楽しい家族

鉄砲の管理や弾代は実
費なので、手当てなど
の報酬があればいいで
すね。（雄平さん）旧玉庭小学校の利活
用では、例えば、季節
限定で働く（農業・林
業）人のための住まい
やリゾートバイト、サ
ロン等、人が集まるた
めの拠点、みんなが楽
しめる場所になればい
いと思います。働く目的が分かりや
すいと来る人もいるの
では。玉庭に来たらこ
こがお薦めと言える場
所になればいいと思
います。

編集の後で

▼秋晴れでの編集作業
は気もそぞろになる。今年の猛暑は稲の収穫
にどう影響したかはま
だ不明だが、自然と米
価談議▼編集作業に集
中し、限られた編集時
間の中でより分かりや
すい文章で字数を合わ
せなければならぬ▼
誰でも手に取って読ん
でいただける議会だよ
りにしたいと思いが
ら、編集作業にまい進。
（すずむ）

発行責任者 鈴木 幸廣

委員長 橋本 欣一

副委員長 鈴木 孝之

委員 伊藤 進

同 遠藤 明子

同 寒河江 寿樹

同 船山 千鶴

アドバイザー（文章）

佐々木 賢一

鈴木 浩之

アドバイザー（写真）

山田 順一

齋藤 文夫

頂いた要望は町に提
言していきます。